

「対日理解促進交流プログラム JENESYS2019」 による 台湾招へい事業第2陣の来日

外務省が推進する「対日理解促進交流プログラム JENESYS2019」の一環として、8月25日から31日まで、映像芸術を学ぶ台湾人大学生・大学院生14名が訪日します。

本招へいでは、「東北の食の魅力発信」をテーマとし、初日は都内において福島県アンテナショップを視察・取材し、翌日(26日)からは福島県を訪れ、食の魅力発信に取り組む地域の視察・取材を行う予定であり、日本に対する理解を深め、映像を通して東北の食の魅力発信を行うことを目的としています。

今回の交流事業を通じて、日本と台湾の関係を強化し、一行が日本の魅力等を積極的に発信することが期待されます。

[参考]対日理解促進交流プログラム「JENESYS2019」

日本とアジア大洋州の各国・地域との間で、対外発信力を有し将来を担う人材を招へい・派遣し、政治、経済、社会、文化、歴史、外交政策等に関する対日理解の促進を図るとともに、親日派・知日派を発掘し、日本の外交姿勢や魅力等について被招へい者・被派遣者自ら積極的に発信してもらうことで対外発信を強化し、我が国の外交基盤を拡充することを目指している。

<日程案>

8月25日(日)

来日、日本橋ふくしま館 MIDETTE 視察、オリエンテーション

8月26日(月)

公益財団法人日本台湾交流協会訪問、福島県へ移動
福島県農業総合センター視察、ファームステイ

8月27日(火)

JA 愛情館視察

8月28日(水)

相馬市内視察(復興レストラン、相馬双葉漁業協同組合、地元スーパー等)

8月29日(木)

相馬総合地方卸売市場のセリ視察、JA ふくしま未来相馬中村営農センター選果プログラム視察、
福島民報社訪問、福島テレビ訪問

8月30日(金)

あづま果樹園での果物狩り等

8月31日(土)

宮城県へ移動、震災遺構 仙台市荒浜小学校視察、離日

※上記日程は調整中であり、変更の可能性があります。